

日本の石橋を守る会 会長 橋本 幸一 事務局 〒869-4302 熊本県八代市東陽町北 98-2 八代市東陽石匠館内  
TEL.0965-65-2700 メール koho@ishibashi-mamorukai.jp ホームページ <http://www.ishibashi-mamorukai.jp>



壁石と中詰めが除去された状態の松合橋（市指定文化財）。輪石の石材は赤い「馬門（まかど）石」と灰色の「灰石」で、共に溶結凝灰岩。内側の要石は2列になっており、それを外側のやや赤みのある幅広の要石各1石で受ける構造（2023年1月15日） 写真提供/森川孝一

## 肥後の石橋「松合橋」を修復中

白壁土蔵のまち並みが残る熊本県宇城市不知火町の「松合橋」。架設は1820（文政3）年。経年変化により石橋の健全度が懸念され、昨年12月から修復工事が行われています。壁石の上2段ほどを取り外して積み直し、路面下にコンクリートを打設するなどの補修が行われました。工事前に橋を通行していた路線バスのルートは変更され、工事後も橋を迂回して走ります。（広報部）



石橋の魅力を伝える会  
工事中の松合橋

## 架設100周年を迎えた「樋口橋」「前岳橋」「春明橋」

末永暢雄【長崎】長崎県佐世保市吉井町で「樋口橋」「前岳橋」「春明橋」の架設100周年を記念する式典が昨年10月、盛大に行われました。樋口橋は橋長36m、橋幅6.4mと大きな橋。夜は燈柱に灯がとまり、「皇居正門石橋に似ている」と、完成した1922（大正11）年には多くの見物客が訪れたといわれます。

前岳橋（橋長20.5m）と春明橋（同18.6m）も同年に架設されており、この規模の石橋が1年に3橋もかけられたことから、採炭で栄えた地域の歴史や、当時の吉井町の町づくりの勢いが強く伝わってきます。

九州の石橋  
スケッチ紀行

樋口橋は、「長崎県内に残



100周年を記念してライトアップされた樋口橋（県指定有形文化財） 写真提供/末永暢雄

る2連アーチ石橋では、諫早市の眼鏡橋（国指定重要文化財）に次ぐ大きさを誇り、細部の装飾やデザイン性が高く、重厚な美しさを持っている」として、昨年3月に県の有形文化財に指定されました。

## 「宮ヶ原橋架設100年記念特別企画」開催される



宮ヶ原橋架設100年を祝う和太鼓集団「童衆」による演奏 写真提供/中村まさあき

福岡県八女市の星野川に架かる4連アーチ石橋「宮ヶ原橋」が架設100周年を迎え、昨年10月、八女上陽の「ひふみよ橋」を守る会主催の記念イベントが開催されました。午前には宮ヶ原橋で神事が行われ、架設時の大工・西木文蔵と小川弥四郎の

子孫も参加した記念の「橋渡し」、和太鼓の演奏、技術士（建設）・馬場紘一氏による橋の説明が行われ、午後には「ほたと石橋の館」前の特設会場で株式会社建設技術センター代表取締役社長の武末博伸氏による「宮ヶ原橋の保存と役割」と題した講演が行われました。

今年1月には、宮ヶ原橋の保全を含む災害からの復興が高く評価され「星野川災害復旧助成事業宮ヶ原校区」が、2022年度土木学会デザイン賞・優秀賞を受賞しました。（広報部）



ほたと石橋の館



2022年度土木学会  
デザイン賞・優秀賞

## 「大園橋」文化財指定「解除せず」を確認

鹿児島県鹿屋市が防災上の理由で撤去を検討していた2連アーチ石橋「大園橋」（市指定文化財）の続報。今年2月2日の南日本新聞は「市文化財保護審議会は1日、文化財指定を解除しない方向を全会一致で確認した。今後建議書をまとめ、市教育委員会に提出する」と報じました。

2020年7月の豪雨により石橋の周辺家屋およそ9戸が浸水したことなどから、住民の要請を受けた市は翌年9月、被害は石橋が要因であるとして撤去する方針を発表。それに対し、郷土史を研究する大隅史談会（瀬角龍平会長）は、慎重な議論を求める陳情書を2度にわたり提出。市議会での結論待ちの状況になっています。

国の河川事務所は20年の浸水時に石



下流側からの大園橋。2連の輪石が接する中央の「袴石」が欠落した状態  
写真提供/中村まさあき

橋がなかった場合、「川のピーク時の水位は約25cm下がったと想定されるが、それでも浸水は免れなかった」との見解を発表。撤去に必要な文化財指定解除の可否が検討されていました。（広報部）

## 石橋の設計・施工・修復実例集を石橋管理者に配布



よみがえる石橋 設計・施工・修復 実例集

※手数料の一部が本会に寄付される

熊本地震を経て、石橋の健全度診断の方法や災害復旧・修復工事の報告書をまとめた冊子「よみがえる石橋 設計・施工・修復 実例集」が昨年12月に制作されました。執筆は、設計分野を建設プロジェクトセンター社長の中村秀樹氏、施工分野を尾上建設会長の尾上一哉氏、修復分野を葵文化社長の荒木祐一郎氏が担当。中村まさあき編集で、一般社団法人石造文化財技術機構(TOSCA)が監修。冊子は非売品で、A4サイズ・オールカラー・148ページ。熊本県内市町村ならびに全国の石橋管理者に向け、贈呈されました。

冊子を希望する方は、「氏名」「住所」「電話番号」を明記し、メールか郵便で下記へお申し込みを。発行部数に限りがあるため、会員限定30冊（一人一冊）限り、4月30日まで先着順で受け付け、5月上旬に発送します。冊子到着後に送料・手数料2,000円を指定口座へ振り込みください。（広報部）

冊子申し込み先 メール▷中村まさあき koho@ishibashi-mamorukai.jp  
郵便▷株式会社 建設プロジェクトセンター 〒869-1234 熊本県菊池郡大津町引水215-1



重見橋をガイドする中学生  
写真提供/八代市

## 中学生が石工の里をガイド

石工集団の活躍などのストーリーが日本遺産に認定された熊本県八代市。石橋やまちの魅力を来訪者に伝えたいと「種山石工」のふるさと、東陽中学校の生徒18人によるボランティアガイドが発足しました。東陽まちづくり協議会と連携し、校区を巡って情報を収集。おそろいのユニフォームが支給され、昨年10月開催の東陽しょうが祭りでガイドデビューを果たしました。（広報部）

## テレビCMにアーチ石橋のシーンが…

中村まさあき【熊本】 テレビを見ていたら、俳優の草刈正雄さんが登場する「養命酒」のCMに石橋が登場。古いまち並みのシーンもあり、古くからのものをありがたく、大切にしたい思いが伝わってきました。CMは「養命先生がいる街、冬冷え篇」で、撮影されたのは「めがね橋」と呼ばれる千葉県南房総市白浜町の長尾川に架かる3連アーチ石橋「眺尾橋（ながおぼし）」（県指定文化財）でした。CMでも多くの人に石橋の魅力が伝わるような気がします。



養命酒公式 HP  
CM「冬冷え篇」



南房総市 HP  
眺尾橋